

2024 年度 研究サマリー

研究会名称	千葉大学先端応用外科学教室記念事業
代表者所属	千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学 教授 千葉大学第二外科・先端応用外科 同門会 副会長
代表者氏名	松 原 久 裕
研究方法・結果 2023 年度においては、計画に基づき下記の研究等を行った 1) 千葉大学先端応用外科教室記念事業： 2026 年には教室開講 100 周年を迎えるため、記念事業を予定している。教室における業績を振り返り、進歩の過程を検証することを目的とし、これを見据えて昨年度に引き続き運営会議を開催し準備を行った。優れた外科手術手技の伝承に寄与すべく過去の膨大な手術記録を確認整理し、貴重な映像を更に利用しやすくリスト化した。また、教室出身者は他の医療機関にて指導的立場で研究を続けた者も多く、学内のみならず広い範囲での資料収集を引き続き行った。 2) 教室記念講演会： 2025 年 3 月 30 日、千葉大学先端応用外科学業績を整理し、臨床研究、基礎研究における研究内容を教室開講 100 周年記念の一環として講演発表した。現在業績集として発刊すべく編集作業を行っている。 3) 食道癌、胃癌、大腸癌および腎臓移植における治療成績向上のための基礎及び臨床研究、手術法の開発： 消化器癌の発癌、転移、浸潤などのメカニズムを解明し、さらに治療に応用すべく基礎的研究を継続している。また、それぞれの疾患分野にて診断治療の最先端となる臨床研究も進めており、学会発表、論文発表を行った。胃癌、大腸癌などへのロボット手術などの新規手術症例数も着実に増加している。特にロボット手術の飛躍は著しく、大腸癌手術では半数以上がロボット手術で行われている。腎臓移植においては、併存疾患のある患者さんなどの困難例も行い、着実に臨床数を増やしており多くの患者様に恩恵をもたらしている。 4) 腎臓移植に関わる教育啓蒙活動： 2024 年 10 月臓器移植についての市民公開講座を後援した。グリーンリボンキャンペーンとして、JR 千葉駅前にて該当キャンペーンを行った。また 2024 年 5 月に千葉県立幕張総合高等学校、2025 年 1 月に淑徳大学において、臓器提供、腎移植に関する講演を行った。 -次頁に続く-	

研究成果（論文・学会発表・雑誌掲載等）

○学会発表

丸山 通広 「腎移植後再手術症例の検討」

ポスターセッション、第 124 回日本外科学会、2024 年 4 月 18 日、愛知

森下弘基

「技術認定取得を目指す後腹膜鏡下移植腎採取術～これから取得を目指す若手の立場から～」

パネルディスカッション、第 37 回日本内視鏡外科学会総会、2024 年 12 月 6 日、福岡

坪 尚武、丸山 通広

「当院における腎移植後 BK ウイルス感染の検討」

一般口演、第 60 回日本移植学会総会、2024 年 9 月 13 日、長崎

丸山 通広 「献腎ドナー手術における手技伝承」

要望演題、第 60 回日本移植学会総会、2024 年 9 月 14 日、長崎

丸山 通広 「当科の腎移植医療 57 年のまとめ」

一般口演、千葉県外科医会第 100 会記念大会 2024 年 11 月 9 日、千葉

○講演

丸山 通広 「腎移植長期フォロー施設における移植後貧血の現状と治療」

移植後腎性貧血セミナー

2024 年 10 月 24 日 千葉市

松原 久裕 「食道がんと胃がんの最新動向」

くまそうフェス 2024 市民講座

2024 年 10 月 5 日 熊谷

○雑誌掲載

丸山通広、森下弘基、牧山展士、松原久裕

「献腎移植（成人）の動向と治療成績」

総説、腎と透析、 97(2):147～151、2024